平成 25 年 4 月 12 日

各　　位

会 社 名　アストマックス株式会社
代表者名　代表取締役社長　本多　弘明
（大証 JASDAQ・コード７１６２）
問合せ先　常務取締役　小幡　健太郎
（電 話　03-5447-8400）

平成 25 年３月期３月度の月末運用資産残高のお知らせ

今期（平成 25 年３月期）３月度の月末運用資産残高につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

３月の商品市況は全体として横ばいとなりました。主要銘柄では、穀物や銅等の非鉄金属が値下がりしましたが、エネルギーについてはまちまちで、石炭が下落する一方、原油及び石油製品は総じて反発しました。株価については、米国を中心に世界経済の回復期待が高まり日米の株高基調が鮮明となる中、欧州ではキプロスの銀行問題が浮上し、これが株価の上値を抑えることとなりました。

当社グループが公表しております円建てのアストマックス商品指数（AMCI）は、２月末の 385.666 に対し、３月末は 388.218 と、前月比 0.66％の上昇となりました。

エネルギー市場では、WTI が米国株の高止まりや米国経済指標の回復を背景に月末に掛けて１バレル当たり 97 ドル台を回復しました。
貴金属市場では、下落基調を受けて投機筋の買いポジション解消が一巡した一方、新興国の金準備の積み増しの買いがサポートしたことにより、金価格は１トロイオンス当たり 1,600 ドル近辺で３月を終えました。
非鉄金属市場では、在庫が高水準に達したことから、銅は１トン当たり 7,500 ドル台、アルミも１トン当たり 1,900 ドル台に下落し月末を迎えました。
穀物市場は、月末最終日に発表された米国内の四半期在庫等が予想を上回ったことから急落し、コーンは前月末と同水準の１ブッシェル当たり 6.90 ドル台、大豆も１ブッシェル当たり 14 ドル台前半で月末を迎えました。

３月の欧州株式市場は、財政危機に陥ったキプロスで銀行預金課税が実施されるとの報道を受けて、再びユーロ圏経済に対する不透明感が強まったことから、ユーロ・ストック 50 指数は 0.36％下落しました。米国株式市場は、キプロス自体がユーロ圏で占める GDP 割合が小さい等他国市場への影響は限定的との認識が強まったことで、経済指標の堅調さを背景に、S&P500 は 3.60％の上昇となりました。日本の株式市場は、黒田日銀総裁が２％のインフレ目標の達成及び大胆な金融緩和策を表明したことを受け、TOPIX は 6.05％の上昇となりました。

当社グループが運用する資産残高は、前月比 4,198 百万円減（6.65％減）の 58,942 百万円となりました。
尚、平成 24 年 12 月 28 日付で子会社となりましたＩＴＣインベストメント・パートナーズ株式会社

（IIP）における平成 25 年３月末の運用資産残高は 1,033 億円でありますが、上記資産残高には含んでおりません。但し、1,033 億円のうち約 149 億円につきましては、当社連結子会社であるアストマックス投資顧問株式会社が IIP から外部委託を受けて商品先物運用を行っているものであり、上記 58,942 百万円の残高に含まれております。

【運用資産残高（数値）】

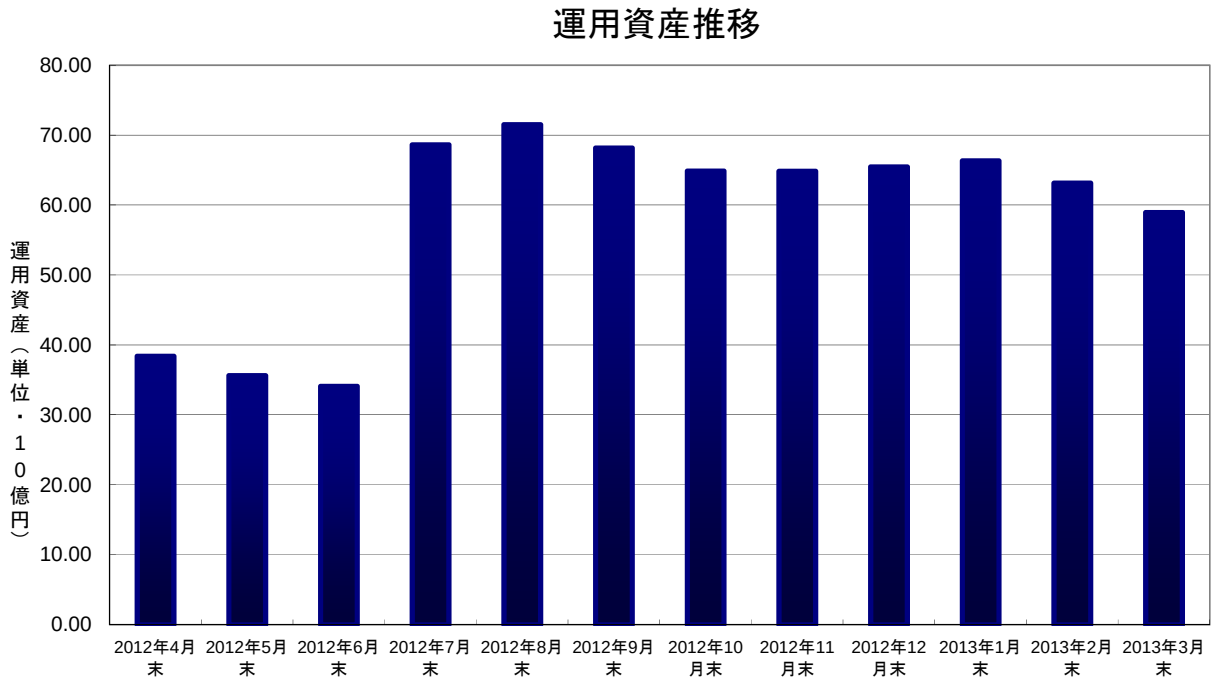
（単位：百万円）

	平成24年 ４月	平成24年 ５月	平成24年 ６月	平成24年 ７月	平成24年 ８月	平成24年 ９月
商品投資顧問事業	28,412	26,251	24,919	38,923	41,506	40,596
証券投資顧問事業	9,966	9,369	9,180	29,698	29,992	27,582
合計	38,378	35,620	34,099	68,621	71,499	68,179

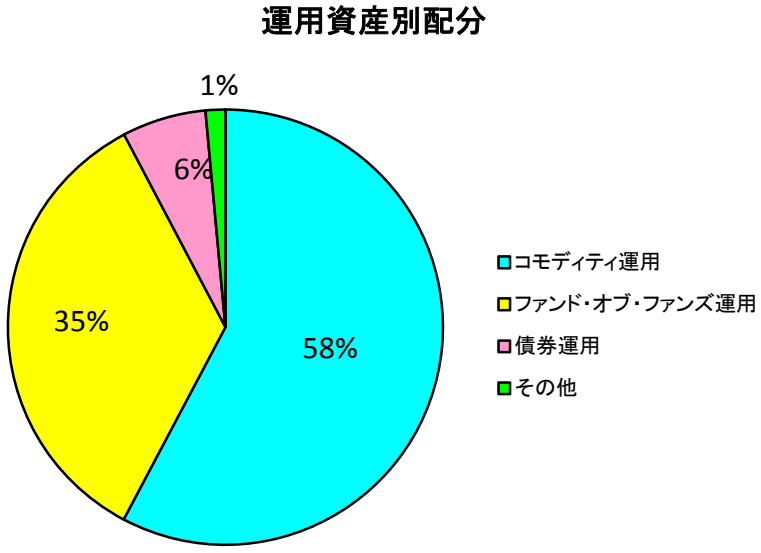
	平成24年 10月	平成24年 11月	平成24年 12月	平成25年 １月	平成25年 ２月	平成25年 ３月
商品投資顧問事業	38,670	38,499	38,982	39,443	37,571	34,033
証券投資顧問事業	26,189	26,338	26,486	26,865	25,569	24,908
合計	64,859	64,838	65,469	66,308	63,140	58,942

（注）１．上記の数値は、原則毎月第 10 営業日までに開示いたします。
２．上記の数値は、概算値を含んでおります。
３．概算値は翌月以降、確定次第確定値に変更いたします。

【運用資産残高（グラフ）】



(注) 平成 24 年 7 月より旧マネックス・オルタナティブ・インベストメンツ株式会社（平成 24 年 10 月 1 日付でアストマックス投資顧問株式会社に商号変更）の運用資産残高を加えた数値を記載しております。



以上